

公文書館だより

10年の歴史 vs 104年の歴史

札幌市公文書館はウィキペディアにも項目がある。沿革には、公文書館になるまでの経過が書かれており、平成 25(2013)年 7 月の開館が沿革の最後の項目となっている。

10 年間何もなかったのか？

また、建物の前身である豊水小学校の沿革も書かれているが、その項目の数は公文書館より多い。

そりゃあ、豊水小学校は、今公文書館があるこの土地に明治 33(1900)年に校舎が作られ、平成 16(2004)年に閉校するまで 104 年の歴史があるのだから、当然と言えば当然である。

しかし、豊水小学校は平成 16 年で歴史が止まったのであり、一方札幌市公文書館は平成 25 年以降歴史が進行している。

沿革に書かれるべきことがないのは、悲観することではない。開館以来安定的に運営されている証である。しかし、この安定は永遠に続くのだろうか。百年後はどうなっているのだろうか？

それを考えるヒントに百年前を振り返ってみる。公文書館は、振り返るのは得意だ。

百年前は、札幌が区から市になった翌年だ。空席だった新しい市長が就任した年である。

その当時重要な公文書をしっかり保存して、市民に積極的に見てもらおうという施設ができるとは思ってもみなかったはずだ。

百年後について、現時点で唯一予想できるのは、紙の文書が少なくなって、電子文書が主流になっていることぐらいだ。

今ある建物は築 53 年ほどたっている。百年後もこのままこの場所にいるかどうかはわからない。仮には百年後もこの場所にいたとして公文書館の歴史は 110 年で、豊水小学校の歴史 104 年とあまり差がない。思い切って、千年後を考えてみるが、さすがに見当もつかない。逆に千年前を振り返ってみると、日

本は平安時代で藤原氏の絶頂期であった。その頃の北海道は擦文時代と言われる時代で、札幌にもその時代の痕跡がある。しかし、京の都の人たちには、同じ国という意識もなかったであろうところか、国の概念も今と違っていただろう。

一方、ヨーロッパではキエフ公国が全盛期だった。千年後その人民であるルーシの末裔同士で戦争をしている。要するに、千年たっても続く因縁もある。

これまでの千年とこれからの千年の変化のスピードは全く違うだろう。だいたい日本という国や日本人もどうなっているかもわからない。千年に一度の大水害や直下型地震も起きているかもしれない。

千年後も今の場所に公文書館があるとしたら、奇跡であり、建物も基本変わっていないとすれば、遺跡に居住しているようなものだ(それはそれで趣がある公文書館である。)

しかし、どういう形であれ、これまで受け入れた公文書は残っていてほしいと思う。千年後の人からみて、西暦 2000 年代の学術研究の成果は、当時ではこれが限界だね、と言われてたり、歴史書も史料を読み込ませたら生成 AI が立派なものを作ってくれるだろう。ただ一つ感謝されるとしたら、「よくぞ文書を残してくれた」である。

水害をはじめとする自然災害から生き残った公文書は、千年後はおそらく地中深くの安全な場所に原本を保管し、専ら扱うのはデジタルデータで、しかも AI 的なものが 4 倍速で読み上げたものを聞いて理解するようになっているかもしれない。

千年後の札幌市公文書館は今の場所にならなければ、豊水小学校を意識することはない。仮に同じ場所にあっても、千年の年月もあれば、ウィキペディアの沿革の項目数は豊水小学校に勝っているはずだ。先は長い。が、希望は持てる。

(公文書館管理係長 高井俊哉)

10年前の公文書館を振り返る座談会



日時 令和5年6月3日(土)

会場 札幌市公文書館2階小会議室

出席者 (肩書はいずれも開館当時。)

安藤友明 公文書館事務職員 (現・デジタル戦略推進局スマートシティ推進部住民情報課システム担当係長)

中村 奏 公文書館事務職員 (現・厚別区保健福祉部保護一課)

越後武介 総務局行政部総務課文書事務担当係¹事務職員 (現・子ども未来局子ども育成部子どものくらし・若者支援担当課子どものくらし支援担当係長)

秋山淳子 公文書館専門員 (現・東京大学文書館助教)

高井俊哉 総務局行政部総務課文書事務担当係長 (現・公文書館管理係長、平成29年11月～令和2年3月・公文書館長)

書記・木村優美 公文書館事務職員 (現職)

【久しぶりの公文書館に来てみて】

高井 おかげさまで、札幌市公文書館はまもなく開館10周年を迎えます。今日は開館に関わった方々に集まっていたいただき、当時のお話などを伺いたいと思います。どうですか、久々に訪れた公文書館は、この中で一番ブランクがあるのは安藤さんだと思います。

安藤 外観はあまり変わっていないですね。



平成26年度末まで公文書館に在籍した安藤さん

高井 開館時に内装を変えたり、耐震工事をして以降は、大きな改修をしていませんからね。

安藤 平成30(2019)年には胆振東部地震がありましたが、何か被害はありましたか？

高井 資料が4つほど床に落ちたぐらいです。書庫が散乱していると覚悟して来たけど、本当に地震があったのか、と思ったぐらい。

越後 震度が弱かったのでしょうか？

高井 私は自宅が震度6弱のエリアで、結構物が落ちたり倒れたりしたけど、公文書館の周りは震度4ぐらいじゃないかと。建築の先生にその話をしたら、豊平川が近いから地下は礫(れき)なんじゃないかと言っていました。

安藤 確かに、私が公文書館にいたころから水害は気になっていましたが、どうなんでしょうか。

高井 新しいハザードマップでは、豊平川が氾濫した場合、最大3mの水に浸かるエリアになっています。

安藤 吸水土嚢は、中村さんが手配した記憶があります。今の対策はどうでしょうか。究極は移転か建替ですけど。

高井 元々、災害時のマニュアルはありましたが、新しいハザードマップや胆振東部地震の経験も踏まえて再検討しているところですね。吸水土嚢を設置する場合、正職員5名で200袋以上を膨らまさないといけないので、かなり厳しいことに気づいてしまいました。

【10年前、開館の思い出】

高井 平成25年の開館に向けての作業で、印象に残っていることはありますか？

秋山 公文書館所蔵の公文書を管理するシステム作りですね。現用公文書²のシステムに横付けする形で公文書館システムを構築したのですが、公

¹ 札幌市の全庁的な文書管理事務の総括を行う。

² 札幌市の各部署で業務に使用している公文書を指す。この現用公文書にあらかじめ設定した保存期間満了後、重要公文書は「特定重要公文書」として公文書館へ移管される。

文書館からはいろいろな要望があつて、当初はなかなかまとまりませんでした。途中からシステム構築を統括している越後さんと直に連絡できるようになって、ギアが上がった感じがありました。

高井 要望を全部叶えたら重いシステムになってすぐ動かなくなると、情報系の職場での勤務経験がある当時の文化資料室長(文化資料室は公文書館の前身組織)がボソッと言っていました。

越後 たしかに新システムを一から作るぐらいの項目の多さでした。

木村 そのシステムも、令和 3(2021)年に新しくなりました。

秋山 あんなに苦労したのに…。
(一同、モバイルパソコンで新しい公文書館システムの画面をのぞき込む。)

高井 話を戻しますが、システムがいざ出来たら、過去に受入済みの公文書の目録情報をシステムに入れなければならないですよ。公文書館開館までに所蔵していた公文書は 4,840 件。現在、公文書館が 1 年間に受入れて目録を作成する公文書は 600 冊ほどですから、約 8 倍の作業量では。

秋山 そうです。しかも、システムの完成から開館まで日数も迫っていました。当時の館長に「できる?」と言われて、「はい」と言ってしまったんです。



東京から座談会に参加の秋山さん

高井 当時在籍した職員に大変だった?と尋ねたら、思い出したくなさそうでした。

秋山 システムへの入力も大変なんです。公文書を箱詰めして棚に並べるのも大変でした。公文書を入れる保存箱って結構手を切るんです。でも絶対血を文書に付けるわけにはいかないし、絆創膏も手元にないし、時間がなくて焦っているしで、粘

着テープを手に貼って作業した専門員もいました。

高井 なんか壮絶ですね。開館当時にその作業を経た公文書には感謝しなくてはいけない。

【開館記念式典の準備に追われ…】

高井 7月1日の開館記念式典に向けての準備も大変だったみたいですね。

安藤 ほとんどの職員が夜遅くまで残業していました。

秋山 式典だけでなく展示もギリギリでした。

高井 その頃だったと思うんだけど、普段は本庁舎で勤務しているはずの越後さんを、当時の文化資料室の建物で見かけたという話がありましたよね。でも、夜遅くで、時間的にもあり得ない。

中村 あれは間違いなく越後さんでした。

高井 そう複数の人が言うのね。もしかしたら越後さんにその手の、分身とか瞬間移動の能力があるのかなとか、古い学校だからそういうことがあるのかなと思っていました。



今日は分身ではない本物の越後さんです

中村 なんだったのでしょうかね、あれ。

高井 みんな相当疲れていたのでしょうかね。

安藤 越後さん、生霊を飛ばすくらい公文書館に思い入れを持ってきていたんですね。

【そして、開館の日】

高井 7月1日、開館を迎えます。あの日は天気も良くて、初夏の札幌らしい日でした。来館予定者は内覧会(館内見学)38名、式典83名、記念講演会95名です。講演会参加者134名という数字があるから、150名は来ていたのでしょうかね。少ないように

見えるかもしれませんが、この施設で150名は、どこを見ても人がいた印象がありました。

秋山 国立公文書館の館長様も来てくれましたが、館長に就任して間もなくだったので、とても印象に残っているそうです。

中村 市長の挨拶が熱を帯びて予定より時間が押してきて、ドキドキしたのを覚えています。

【大濱徹也先生】

高井 記念講演会で講師をしたのが大濱徹也³先生です。日本の公文書館業界では、「札幌市公文書館といえば、大濱先生」という感じですよ。



開館記念講演会の様子

秋山 10年前に、「公文書館は歴史研究者だけの施設ではない」と最上段から言い切ったのはすごいと思います。

越後 行政側の人間からすると、大濱先生の考える「行政の職員から見て重要かどうか」という基準は非常に受け入れやすかったし、原課への趣旨説明も含めて公文書管理条例を作る上でやりやすかったですね。

高井 大濱先生は、平成31(2019)年2月9日に急逝されました。その3日前に公文書管理審議会⁴(当時、大濱氏が会長を務めていた。)があって、審議会当日にこの小会議室で事前の打合せをしました。

(一同感慨にふける)

越後 大濱先生は、全国いくつかの公文書館の設立に関わっていますが、札幌はどういう印象なんでしょうね。

高井 札幌が一番面白かったと言っていたことはあります。まあ設立後も公文書管理審議会委員をやってもらって文書管理にも関わりましたからね。

安藤 公文書管理法をはじめ、「特定歴史公文書」という名称が一般的ですが、札幌市では行政上の重要性を重んじた「特定重要公文書」という名称にしたのも、大濱先生の思想ですよ。今でも札幌市だけですか。

高井 北海道内では、昨年公文書管理条例を制定した東神楽町が採用していました。札幌市の公文書管理条例ができたあと、「特定重要公文書」という言葉を採用する自治体があるかと思っていたのですが、意外になかった。道外での例はわかりませんが。

中村 私は、大濱先生って、最初は怖い印象がありました…。

高井 私も最初はそうでした。だけどあれだけ本音を言えた“有識者”はいなかったですね。

秋山 存命されていたら、今の札幌市公文書館を見てなんておっしゃいますかね。

高井 どうでしょうね。別に10年にならなくても相当いろいろなことを言われているでしょうけど。

【今の札幌市公文書館】

高井 さて、みなさんから見て、今の札幌市公文書館はどうですか？

秋山 札幌市公文書館は公文書管理法制定後に設置された公文書館であり、大濱先生の理念を反映し「レコード・スケジュール」⁵という新しい制度を実行した公文書館でもあり、すごくアーカイブズ界で

³ 大濱徹也(おおはまてつや、1937-2019) 筑波大学名誉教授。札幌市公文書館基本構想検討委員会委員長、札幌市公文書管理審議会会長などを歴任。札幌市における業績は、令和元年7月発行『札幌市公文書館年報第6号』中の「札幌市における大濱徹也氏の足跡」参照。

⁴ 公文書の管理についての施策を適正かつ円滑に実施するために、札幌市公文書管理条例第32条に基づく附属機関として設置している。

⁵ 公文書が作成された時に、その保存期間と、保存期間が満了した際にその文書をどうするか、公文書館に移管して永久に保存するのか、それとも廃棄するのかをあらかじめ設定すること。文書を作成した職員が設定する。(『国立公文書

注目されています。

高井 それは本当に「レコード・スケジュール」を具現化できるの、という疑念の目で？

秋山 疑念と期待と両方ではないでしょうか。それと、この機会にアーキビスト⁶の立場で言わせてもらいますが、これだけ注目されている、ここで働きたいと思っても、現行の専門員の雇用条件では優秀なアーキビストは来ないと思います。

高井 それは、貴重な指摘として受け止めます。

安藤 札幌市職員の間でも、公文書館の認知度はまだ低いです。

越後 公文書館の機能や各課で作成した公文書を公文書館へ移管するまでの流れがまだ十分に知られていない気がします。そもそも「場所を知らない」という職員もいますか…。

安藤 開館時、公文書館の方向を示す道路看板を設置してもらいました。地下鉄の出口あたりに近隣の施設を示す案内板がありますが、公文書館も載っていますか？

高井 豊水すすきの駅の6番出口が最寄りですが、書いてないんだよね。豊水まちづくりセンターはある。まちづくりセンターに地下鉄で来る人は少ないと思うのだけど。

【公文書館を知ってもらうためには】

越後 やっぱり職員に知ってもらうには研修しかないんじゃないでしょうか。

秋山 研修は確実ですよ。私の職場(東京大学文書館)では、今の朝ドラ⁷の影響で、一般の方から問合せがあったりしますね。

高井 そういう利用があるのはいいですね。いつかテレビドラマの舞台として公文書館が取り上げられないかなあとと思います。

越後 大濱先生は、「欧米の推理小説ではアーカイブズで調べる場面がある」と言っていましたね。

高井 表舞台や主役でなくていいんですけどね、印象に残る使われ方、演者が記憶に残るような作品であればいい。

中村 刑事か探偵が行き詰って、公文書館でヒントを得るみたいな。

高井 アーキビストは公文書館の内容を調査研究するのではなく、あくまで資料を提供する側なんですよね。資料の案内・助言をする存在として印象づけばいいな、と。



座談会の聞き手となった高井係長

木村 実際には調査依頼というか、答えだけを知りたいという問合せは多いですね。

高井 かつての文化資料室の伝統で、「札幌の古いことはなんでも分かるでしょ」という誤解は、未だに札幌市職員からも市民からもあります。

安藤 ドラマもいいですが、自力で魅力を発信する方法を考えることも必要ですね。文章力など属人的な部分が大きくなるので、継続性が課題になりそうです。

高井 そのとおりですね。

【書庫は10年で一杯？】

高井 公文書館の将来や気になっていることとか心配していることはあります。

安藤 書庫のキャパ、収蔵能力ですかね。

高井 では実際に館内見学をしながら続けましょう。

館ニュース Vol.7『レコードスケジュール等の専門的技術的助言』より)

⁶ 公文書館等で勤務する専門職員。公文書館で所蔵する公文書の選別・保管・提供を担う。札幌市では会計年度任用職員の「公文書館専門員」を雇用している。

⁷ 2023 年度前期放送の NHK 連続テレビ小説「らんまん」。主人公は日本の植物学者であり東京帝国大学で研究活動を行っていた牧野富太郎をモデルとしている。

特定重要公文書の書庫はもう一杯になって、やむなく隣の書庫に置き始めています。

安藤 開館時の想定より早い。今はどれくらいで満杯になりそうな想定ですか。

高井 今後 10 年も持たないでしょうね。早くてあと 3 年かな。

一同 それはまずい…。



展示室も久しぶりに見学

高井 特定重要公文書は予想より早いですが、行政資料(市が発行したパンフレットや冊子等)の今後の量によっては多少変わるかもしれません。行政資料がそれほど増えていないのは電子媒体での発行が増えてきたからかと思います。

秋山 電子媒体の資料はどうしているのですか？

高井 印刷して紙で保存しますが、ホームページでのみ公開されている資料の情報収集をする手段がないので、それが問題ですね。

安藤 書庫が一杯になったらどうしますか。

高井 今、特定重要公文書は1階だけに置けていますが、今後は 2・3 階の書庫もやりくりしながら対応する必要がありますね。この建物自体も古くなっているんで、新館も考えた方が良く思う。

安藤 新館も廃校利用になりそうでしょうか。

高井 少子化だから、大いにあり得ると思う。ただ、校舎は書庫を想定して建築されていないから、床の耐荷重におびえ続けなきゃならないし、公文書の保存に最適な温湿度管理が難しい。

安藤 温暖化の影響もあるでしょうか。

高井 平成 26 年度から取っている館内の温湿度記

録や気象庁のデータを見ると確実に暑くなっています。そうなる心配なのは、資料の虫食いです。10 数年前に北海道は心配ないと言われたのですが、実際どうなのでしょう。

秋山 予防的対策は取った方がいいと思います。冬季の寒さとは関係なく、この時期だけで繁殖する害虫もいますので、「総合的有害生物管理(IPM)」の導入をお勧めします。

高井 新館に暑さ、問題は山積みですね…。

【公文書館の未来】

高井 私の心配性のせいで、暗い将来になってしまいました。明るい期待の話はありますか。

安藤 自分が異動したときは、周りの職員からは「どこ？」という反応をされましたけど、最近は公文書館にいたと言うと、「どうでしたか」と聞かれるので、庁内での認知度は徐々に上がっていると思います。更なる存在感のアップに期待しています。

中村 私も同じように聞かれる機会が増えました。公文書館からの情報発信もかつてより増えていきますし、面白い職場だと思うので、更に認知度が上がってほしいと思います。

越後 「面白そうだから公文書館に異動したい」という発言を聞くこともあります。「自分が起案した重要な公文書を公文書館に移管したい」と札幌市職員が当たり前になる場所になってほしいですね。

秋山 「特定重要公文書」という概念を軸に、アーカイブズの行政的価値を札幌市全庁に共有する中心として、公文書館が活躍できたらいいですね。他の自治体にも参考になると思います。

高井 ありがとうございます。

公文書館が開館 20 周年を迎えるときには、私は公務として公文書館に関わることはできません。それどころか、介助なしでは来られないかもしれないし、存在すらしていないかもしれませんが、開館 20 周年記念行事は、より世間に注目されていることを期待します。

北海道地方公共団体職員向け講話

「公文書館と公文書管理条例の作りかた」を開催しました

8月4日(金)、道内自治体で公文書管理や歴史公文書の保存利用等を担当する職員を対象とした「北海道地方公共団体職員向け講話『公文書館と公文書管理条例の作りかた』」を開催しました。講師は公文書管理条例制定に携わり、公文書館の誕生を間近で見た、現・公文書館管理係長の高井が務めました。札幌市においては、1980年代からにわかに公文書館の議論がなされていましたが、その後公文書館の設置につながる分岐点となる「とある陳情」と、その後の開館までの動きについて説明しました。



また、本講話は全道職員から募集を募りましたが、遠方で来館が困難な自治体もあることを想定し、インターネットに公開する動画の視聴による受講形式も設けました(動画は申込者のみ視聴可能)。その結果、道内各地から幅広く受講申込をいただき、「札幌に行く機会があれば、館内見学したい」とのお声もいただきました。

現在、北海道の市町村としては公文書館を設置しているのは札幌市が唯一であり、道内で公文書管理条例を制定しているのは札幌市のほか、東神楽町(令和4(2022)年制定)、及びニセコ町(公文書管理法成立前の平成16(2004)年制定)の3自治体のみです。今回の講話を通じ、各自治体での今後の公文書管理や公文書館設置検討の一助となれば幸いです。

カルチャーナイト
2023

書庫のナイトツアーへご招待!

札幌市内の文化施設等の参加団体が一齐に夜間開放を実施するイベント「カルチャーナイト 2023」が7月21日(金)に開催されました。当館もこれに参加し、19時までの開館時間延長を行いました。

当館は過去にもカルチャーナイトの参加経験がありますが、今回初めての試みとして、「ミニ講演『公文書館のお仕事』」を開催しました。ミニ講演は公文書館とはどんな役割を持っているのか、札幌市役所でどんな位置づけなのかを説明し、その後、普段は立ち入れない書庫への見学を実施しました。書庫見学では当館で所蔵する特定重要公文書を保管している保存箱を実際に持ってもらったり、当館がピックアップした特定重要公文書を書庫から探し出し、手に取って閲覧していただく等、実体験を重視。昭和40年代の特定重要公文書に綴られている、札幌市役所で作成された起案文書を見た参加者からは「ほとんど手書きですごい」、「二重線で修正されていたり、決裁までの経過が垣間見えるのも面白い」との感想が聞かれました。

札幌、ないしは日本ではまだ「公文書館」という施

設に馴染みのない方が多い状況です。今回のミニ講演と書庫見学開催の経験から、実体験も交えながら公文書館を知ってもらえる機会を今後も継続して設け、気軽に来館できる施設にできるよう今後検討していきたいと考えています。

(札幌市公文書館事務職員 木村優美)



見学を受け入れています

2週間前までにお申込みいただければ書庫を含む見学も可能です。1名から受付しますので、詳細は公文書館へお気軽にお尋ねください。

※通常の見学は、夜間ではなく開館時間中に実施します。

公文書館 SNSのご案内

令和5年6月から、当館の公式フェイスブックでは、「秘密のアーカイブズ」のシリーズ「札幌のスポーツ施設の歴史」を連載中です。体育館、陸上競技場、プール等、市内には多数のスポーツ施設がありますが、当館所蔵の資料からそのルーツを辿っています。ぜひご覧ください。

フェイスブックのほか、エックス(旧ツイッター)、インスタグラムも定期的に更新中ですので、以下のアドレスや二次元コードからぜひアクセスしてください。



フェイスブックでの連載「札幌のスポーツ施設の歴史 第7回」掲載の札幌市立体育会館の外観を写した写真。これは当館所蔵の特定重要公文書内に綴られていた。

Facebook

<https://www.facebook.com/SapporoArchives/>



X (旧Twitter)

@SapporoArchives



Instagram

@sapporoarchives



公文書館利用のご案内

◆開館時間◆

午前8時45分～午後5時15分

(閲覧室での利用請求等の申込は午後4時30分まで)

◆休館日◆

日曜日、月曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)

(この他、職員研修等により臨時休館となる場合があります。公文書館ホームページでお知らせしますので、ご確認ください。)

◆入館料◆

無料

◆交通アクセス◆ ご来館の際は、公共交通機関をご利用ください。

札幌市営地下鉄東豊線「豊水すすきの」駅 6番・7番出口から徒歩3分

札幌市営地下鉄南北線「中島公園」駅 1番・2番出口から徒歩5分

札幌市営地下鉄南北線「すすきの」駅 3・4番出口から徒歩11分

札幌市電「すすきの」駅から徒歩11分

◆アクセスマップ◆



公文書館だより

開館10周年記念 臨時号・令和5(2023)年10月

発行 札幌市公文書館 〒064-0808 札幌市中央区南8条西2丁目

Tel・(事務室) 011-521-0205 (閲覧室) 011-521-0207 Fax・011-521-0210

E-mail・kobunshokan@city.sapporo.jp

ホームページ URL・<https://www.city.sapporo.jp/kobunshokan/>

右の二次元コードからもホームページにアクセスできます。



さっぽろ市

02-A01-23-1912

R5-2-1235